

たはら企業フェアを開催

- 問** 市内中高生対象の「たはら企業フェア」に期待する効果は。
- 答** 将来の人口流出の抑制効果を期待。
- 問** フェア参加募集の方法は。
- 答** 市のホームページや広報紙に加え、学校を通じて生徒へのチラシ配布等により周知していく。

中小企業者を支援

- 問** 中小企業者総合支援事業の対象と手法は。
- 答** 創業や6次産業化、着地型観光に携わる1次産業者や観光事業者等が対象。専門アドバイザー等による伴走型支援やセミナー、合同就職説明会等を考えている。
- 問** 田原ブランド認定審査委員の選考に、販売成果の基準はあるか。
- 答** 成果の基準はない。
- 問** 成果を求める姿勢が市に必要では。
- 答** 成果は生産事業者が求めればよい。数字はない。PR等で支援していく。



観光団体活動を支援

- 問** 渥美半島観光ビューローに対する補助金増額の理由は。
- 答** GOGO三河湾推進協議会の事務局となり、人件費一人分と地域ブランドディング戦略策定等の経費の増額をするため。
- 問** 観光ビューロー自立支援の方策は。
- 答** 法人化を見据えて戦略を策定し、収益事業の検討で自主財源の確保を図り、自立へ繋げていきたい。(以上3/10予算決算委員会)

生活困窮者自立を支援

- 問** 生活困窮者の把握方法は。
- 答** 相談窓口を各福祉センター内に設置。窓口に来られない方については福祉関連事業所からの情報提供により把握している。

子どもの入院費助成スタート

- 問** 入院費の申請から受領までは。
- 答** 申請の時期によっては3カ月ほどかかる。
- 問** 月ごとに申請するものか。
- 答** 高額療養費は、月ごとに計算されるので、月ごとでも数カ月まとめてでも申請は可能。

高齢者の外出を支援

- 問** バス電車券助成の見直し内容は。
- 答** 「利用実績に応じた支払い」に変更する。
- 問** 使用方法の変更内容は。
- 答** バスは回数券購入時に使える助成券を、電車は切符購入時に使える助成券を交付する。

移動式水洗トイレ

- 問** ベッドのそばに置ける移動式水洗トイレは、介護負担軽減に優れ、介護保険の特定福祉用具の給付対象だが、設置費用も独自助成できないか。
- 答** 利便性やニーズの高いものについては、助成の必要性を今後も研究していきたい。

敬老祝い金を見直し

- 問** 88歳の敬老祝い金廃止の理由は。
- 答** 平均寿命が延び、長寿のお祝いという趣旨からずれてきたため、対象年齢の見直しを行った。
- 問** 100歳には国からもお祝いがある。88歳をいきなり廃止ではなく、代替案はなかったのか。
- 答** 高齢者人口の増加、高齢者福祉算など総合的に考え廃止した。

医療的ケア児の受入体制

- 問** 今後さまざまな症例の医療的ケア児を受け入れる体制が必要では。
- 答** それぞれの医療的ケア児に応じ、適切な人員配置をし、必要な対応をしていきたい。

骨髄バンクドナーに助成

- 問** 骨髄バンクドナー助成金の内容は。
- 答** ドナー休業に経済的支援をし、骨髄提供しやすい環境をつくるもの。提供者には、骨髄採取の通院や入院日数に応じ、7日間を限度に1日2万円の助成。提供者が勤務する事業所には、1日1万円の助成がある。

風疹抗体検査を勧奨

- 問** 風疹抗体検査の実施者が当初予定の2割弱と少ない原因は。
- 答** 国の通知を待ち、クーポン券を発送したため、職場での健診に間に合わず、見合わせたと考える。来年度の実施率向上への対応は。令和2年3月末に2年分の対象者にクーポン券を発送し、職場健診と同時に検査ができるよう案内する。